

かかりつけ医と介護施設での看取り

洲本市・たかたクリニック 高田 裕（医師）

高齢者にとって最期を迎える場所は病院か在宅がほとんどでしたが、近年特養を中心とした介護施設での看取り件数が増えつつあります。

現在、一人暮らし高齢者の増加と、家族介護が難しいといった社会的背景から在宅介護よりも介護施設で最期を迎えたいという高齢者が多くなっているように思います。その意味では、「人」の最期を迎える場所は、「病院」「在宅」「介護施設」と大きく3分類できると思われま

す。我々かかりつけ医にとって在宅での看取り以上に介護施設での看取りに果たす役割が今後増加していくことが予想されます。

今回、介護施設での看取りの実態と、かかりつけ医としての介護施設での看取りのあり方について考えてみました。